

中村 あきひろ

なかむら あきひろ(中村 隆宏)
立憲民主党墨田区議団 政調会長
企画総務委員 災害対策特別委員
政策会議委員

お互い様に
支え合う
社会へ



6月議会 本会議 一般質問

新型コロナに対する経済支援を 拡充し安心な暮らしを！

6月議会の本会議で、中村議員が一般質問をしました。

【質問事項一覧】

- 新型コロナによる墨田区独自の経済支援対策について
- 住居確保給付金の制度見直し提言及び効果的な周知方法について
- すみだすまい安心ネットワークにおける国の住宅セーフティネット制度見直しの提言と機能強化について
- 墨田区民間賃貸住宅転居・転入支援制度について
- 就労継続支援B型事業所で働いている障害者への支援策について

本会議の一般質問、常任委員会、予算要望を通して訴えてきた内容が一部実現されることになりました。

具体的には、墨田独自の経済支援対策の一環として、区内業者への支援である「**新生活様式対応補助金+キャッシュレス30%ポイント還元3億円分**」が実施されます。

また、新型コロナウイルス感染症支援策として、**障害者施設・保育施設・介護施設**に対し10万円～最大30万円までの支援が決定しました。



⇒ 質問内容の詳細な全容は墨田区議会ホームページの動画をぜひご覧ください。

企画総務委員会

7月22日に企画総務委員会が開かれました。中村委員より産業観光費のキャッシュレス決済促進・ポイント還元事業について想定利用人数、キャッシュレスポイントを利用できる対象店舗の選定方法、キャッシュレス決済端末機器の選定基準と選定方法、利用できない方々への代替方法はどのように考えているか、また、民生費における介護・障害福祉サービス等事業者支援金給付事業について質問をしました。

中村の 発言



コロナ禍で区民全員が大変な時はキャッシュレス決済ではなく、全員が使いやすい買い物券を発行すべきと考える。
障害者施設で働いている方々は雇用調整助成金の対象にならないため減った工賃は個人へ補償すべきと考える。人に投資を。

渋田×中村 政策対談 第3回

の無料期間が終わった後は手数料が3〜4%がかかります。QR決済は便利ですが、利便

先行投資です。

中村 来年の9月末までの

しています。つまり、

渋田 ペイペイはシェア獲得のため「100億円あげちゃうキャンペーン」等を実施して、370億円程度もの赤字を出

ます。

年9月末まで初期の導入費を無料にしている「ペイペイ」が選ばれると思われ

中村 QR決済事業者の選定基準は、導入コストや利用者の多さを含めて選定する

ので、おそらくシェアが圧倒的で、

新しい人が利用できないのが最大の問題です。新型コロナを利用して電子決済を推

進めている感は否めません。

中村 今回、新型コロナ対策の一環でキャッシュレス30%還元事業が実施される事になりました。

渋田 その事自体はいいと思いますが、

「キャッシュレスポイント還元3億円分」の問題点



「キャッシュレス決済はタダではない」中村

性引き換えに最大4%の手数料を個人もしくは店舗が負担する事になります。当然、手数料は商品の価格に転嫁するか商品価格を上げられない場合は店舗が負担するかのいずれかになります。キャッシュレス決済はタダではない。

渋田 つまり、昨年10月に消費税10%になりましたが、さらに3〜4%も消費者や店舗の負担が増えるのですね。便利さと引き換えにデメリットも考えなくてはなりません。

中村 小規模事業者、小売業の営業利益率は平均で2.1%です。3〜4%の手数料がかかれば赤字になったり、設備投資に資金が回らなくなります。よく「現金特価」とありますが、現金で払えば3%安くなると言えば皆さん現金で払う



「何事にもメリットとデメリットが」渋田

のではないでしょう。

渋田 私だったら現金で払いますね(笑)何事にもメリットとデメリットがあります。そういうことを多くの住民の皆さんにも周知しなければいけない事だと思います。現金取引、電子決済取引、どちらもあってもいい。これが、我々立憲民主党が進めている多様性であると思います。

中村 市場に任せれば必ず利益を求めます。現在、東京都ではLINEペイで税金の支払いもできるようになりました。本区もその予定です。また、LINEペイとペイペイは近いうちに合併するとう事です。税金を納める電子通貨となり得るなら、より公益的な組織が運営する事が望まれます。

渋田 中村議員、しっかり経過を注視して住民のために頑張らしましょう。

3会派共同で補正予算案編成の要望書を提出

令和2年7月3日、次の補正予算6号の編成を鑑み、**立憲民主党墨田区議団**、**日本共産党墨田区議会議員団**、**墨田オンブズマン**は、3会派共同提出で新型コロナ対策における補正予算案編成に関する要望書を提出しました。



▲区長応接室にて。立憲民主党墨田区議団、日本共産党墨田区議会議員団のメンバーで補正予算案編成の要望書を提出しました。

立憲民主党墨田区議団の発案で、日本共産党墨田区議会議員団からの提案も取り入れ、立憲民主党墨田区議団を代表して中村政調会長が取りまとめと調整を担当しました。

新型コロナウイルスの影響で、誰も路頭に迷うことがないよう、しっかり下支えする事が重要だと考えます。

【具体的な要望事項】

①地域経済対策

墨田区生活応援プレミアム付き商品券を発行すること

②企業の持続化支援

小規模企業者・個人事業主等の賃料助成を行うこと

③子育て世帯への支援

給食費無償化をすること

④障害者への支援

障害者就労施設就労者への補償をすること

⑤シルバー人材センター会員への支援

シルバー人材センターで働く高齢者等への補償をすること

立憲民主党墨田区議団 ～活動の様子～

▼JR錦糸町駅前にて。

新しい生活様式推進宣言店の周知をするため、店舗やご利用者の皆さんお一人お一人にお声かけをしました。



左：浜田議員 右：中村議員

▼オリナス錦糸町にある備蓄倉庫にて。

9月～10月の台風シーズンが来る前に、区内の備蓄倉庫を点検を兼ねて視察しました。今後備蓄倉庫を増やす為に条例提案をして参ります。



左：中村議員 右：浜田議員